

# 『金色夜叉』本文の国語学的研究

——前編・中編について——

## A Textual Critical Study of “Konjiki-Yasha”

北 澤 尚 ・ 許 哲

KITAZAWA Takashi, HO Chol

日本語・日本文学\*

### 要約

明治の文豪尾崎紅葉の代表作である長編小説『金色夜叉』には、諸々の本文が存在しており、それらの本文の間には、少なからぬ異同があることが先行研究によって既に指摘されている。しかし、先行研究は語句や語法の異同のみを取り上げているだけで、漢字表記の異同・句読点の異同・送り仮名の異同・語形の異同・仮名遣いの異同・漢字表記か平仮名表記かの異同、濁音符の有無の異同、ルビの有無、誤植、などについては、取り上げていない。

そこで、本稿は、読売新聞初出本文と春陽堂初版本文とを、初版単行本全五冊のうち『金色夜叉 前編』『金色夜叉 中編』という最初の二冊分について調査範囲とし、語句の異同だけではなく句読点や文字表記上の異同をも広く取り上げ、その全ての異同箇所を対照表として示し、その調査結果に基づいて、本文異同の偏りや特徴について考察しようとするものである。なお、本稿の執筆者は、今後もこの調査分析を継続し、できるだけ早い時期に『金色夜叉』全編の本文異同の様相を明らかにしたいと考えている。なお、本稿では、本文異同の種類を「1 符号の異同」「2 表記の異同」「3 語法の異同」「4 語句の異同」の四種類に大別し、更に、その各々を下位分類した。

キーワード：尾崎紅葉，金色夜叉，本文批評，テキスト，読売新聞，初出本文，初版本，本文の異同

---

\* Department of Japanese Linguistics